

経営比較分析表（令和4年度決算）

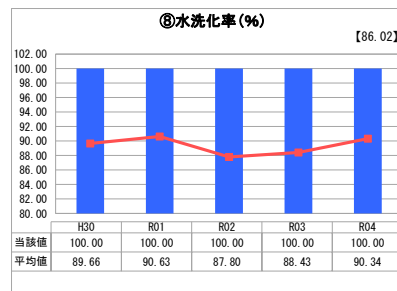
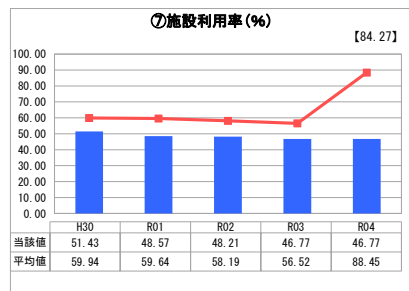
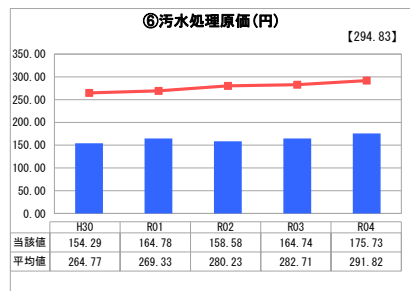
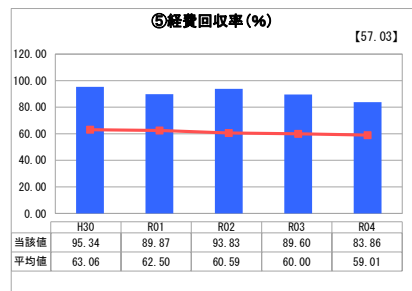
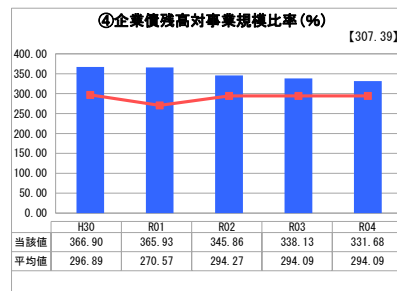
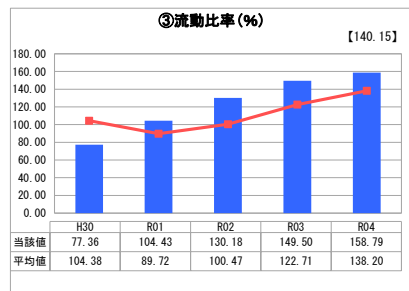
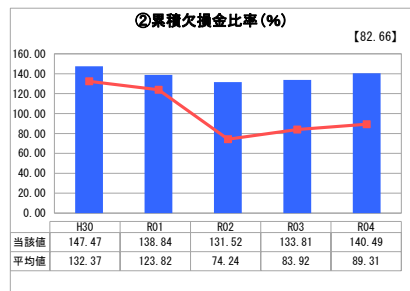
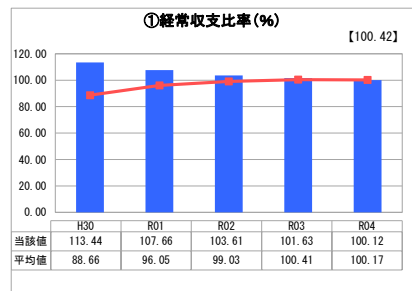
秋田県 大仙市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	51.30	1.47	100.00	2,890

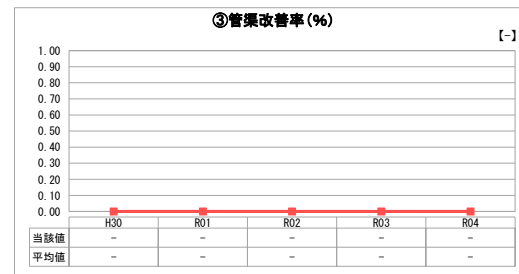
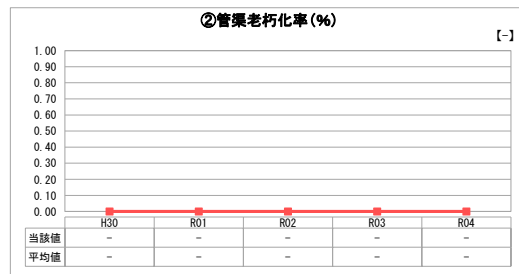
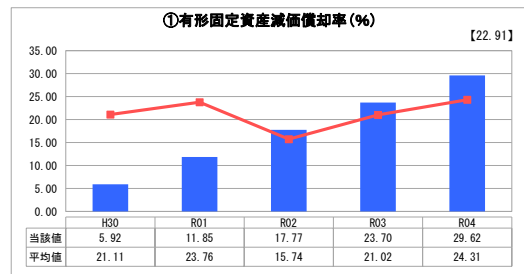
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
76,537	866.79	88.30
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,118	0.85	1,315.29

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率は100%を上回って推移しているが、経常収益の約3割を一般会計繰入金に依存している状況である。
- ②累積欠損金比率は類似団体平均値を上回っている。当年度純利益をもって欠損金を埋めているが、欠損金の解消には年数を要することが見込まれる。
- ③流動比率は100%以上となっている。今後は企業債償還額が減少していくことから、流動比率は更に増加するものと見込まれる。
- ④企業債残高対事業規模比率は僅かながら減少傾向にあり、類似団体平均値に近づいてきている。今後も同水準の推移が見込まれる。
- ⑤経費回収率は類似団体平均値を上回っているが、今後は人口減少や空き家の増加などにより使用料の減少が見込まれるため、より効率的な維持管理が必要である。
- ⑥汚水処理原価は類似団体平均値を下回っており、ほぼ横ばいで推移している。今後は処理区域内人口の減少による有収水量の減少が見込まれる。
- ⑦施設利用率は類似団体平均値を下回っている。将来の汚水処理人口減少を踏まえると、施設利用率は減少していくことが見込まれる。
- ⑧水洗化率は100%となっている。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率は類似団体平均値を上回り、増加傾向にあることから法定耐用年数に近い資産が増加している。将来的な人口減少等を見据えた適切規模の施設更新投資を実施する。
- ②③については浄化槽のため該当なし。

全体総括

経常収支比率が100%を超え、単年度の収支は黒字となっているが、収入は一般会計からの繰入金に依存している状態である。
有形固定資産減価償却率が増加傾向にあるため、法定耐用年数を迎える資産の更新時に備えるべく、設備の老朽化を長期的な視点で予測し、計画的な修繕等を実施し、累積欠損金の解消に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。